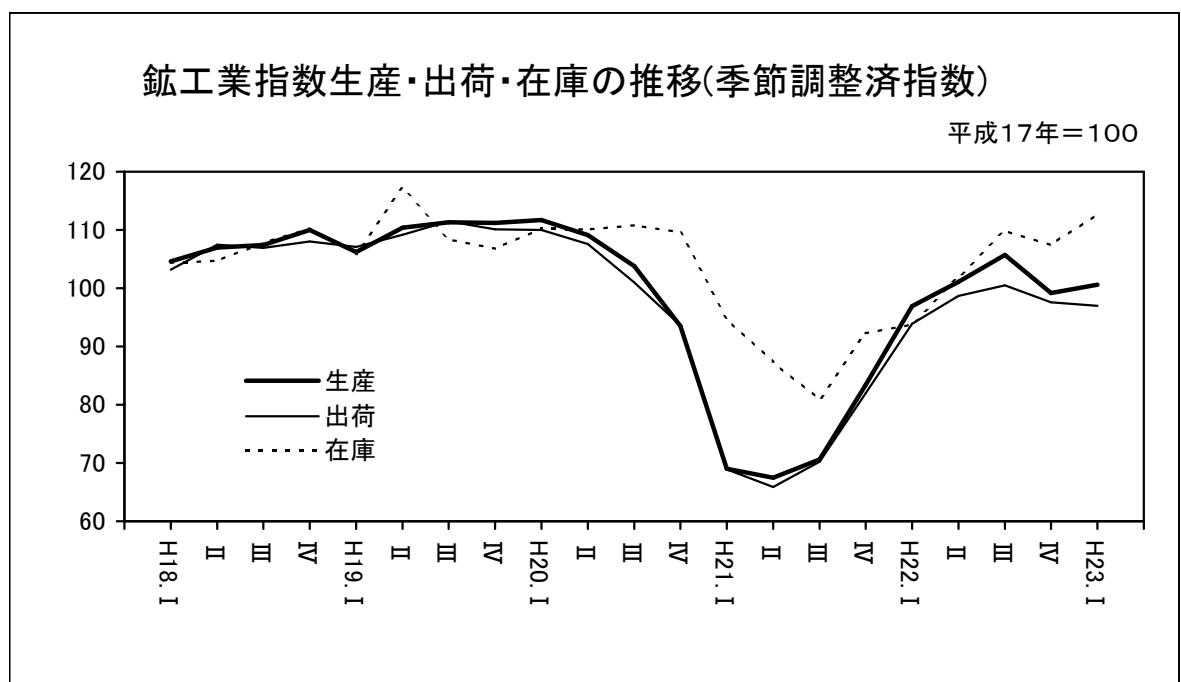


平成17年基準
山梨県鋳工業指数
 平成23年第I期(1~3月)分

1. 当期の概況

平成23年第I期(1~3月)分の山梨県鋳工業指数は、生産が前期比で1.4%と上昇し、出荷が同△0.6%と低下、在庫が前期末比で4.9%と上昇した。

		平成17年=100			
		原指数	前年同期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
鋳工業	生産	95.2	4.2	100.6	1.4
	出荷	93.5	3.7	97.0	△0.6
	在庫	105.4	20.3	112.7	4.9



(1) 生産の動向

当期の生産指数は、100.6で前期比1.4%と上昇した。

これは、一般機械工業が前期比2.6%と上昇し、また、電子部品・デバイス工業が同6.1%と上昇したことなどを主な要因としている。

全体では、一般機械工業、電子部品・デバイス工業等の11業種が上昇し、情報通信機械工業、窯業・土石製品工業等の6業種が低下した。

また、前年同期比では4.2%と上昇した。

○上昇した主な業種

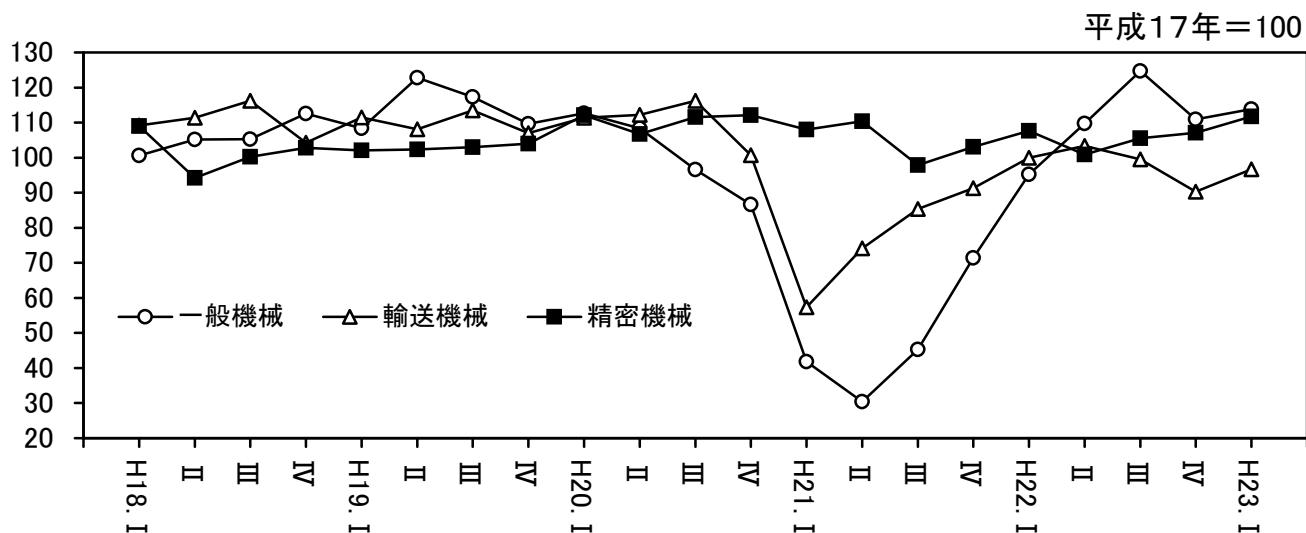
業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
一般機械工業	2.6	0.66	産業用ロボット製造業 など プラスチック加工機械製造業
電子部品・デバイス工業	6.1	0.60	集積回路製造業 など プリント回路製造業
精密機械工業	4.3	0.31	医療用機器製造業 など 写真機付属品製造業

○低下した主な業種

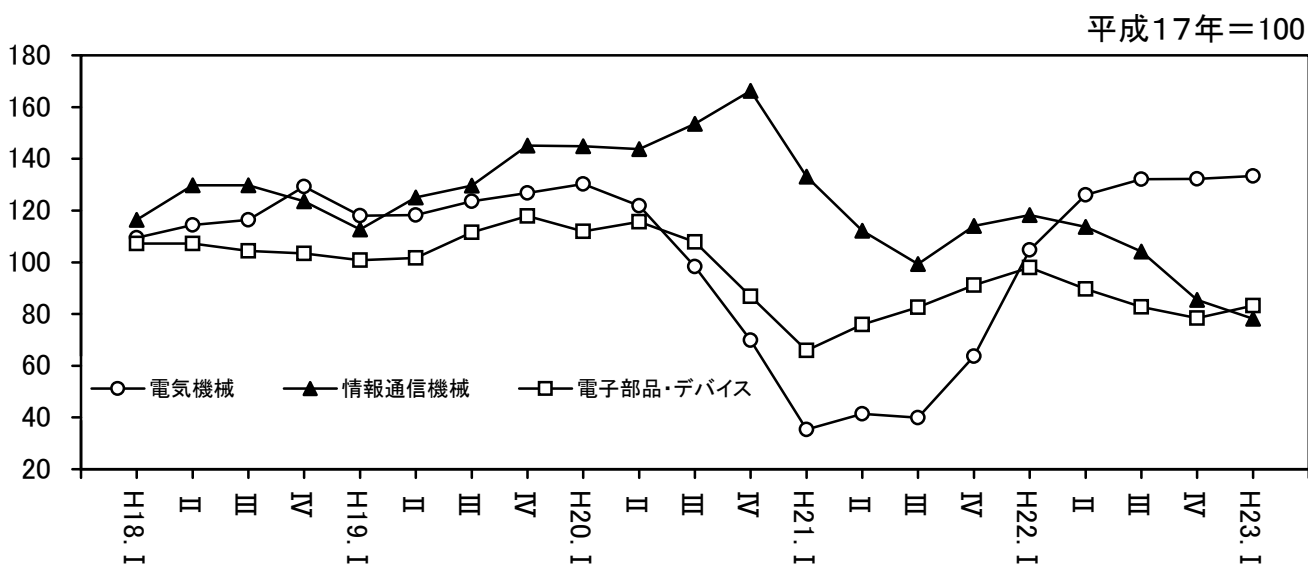
業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
情報通信機械工業	△ 8.4	△ 0.44	電子計算機製造業 など 有線通信機器製造業
窯業・土石製品工業	△ 4.3	△ 0.15	生コンクリート製造業 コンクリート製品製造業
プラスチック製品工業	△ 2.1	△ 0.06	プラスチック板・棒製造業 など プラスチック製日用雑貨製造業

◎主要産業の生産動向(季節調整済指数)

○一般機械、輸送機械、精密機械

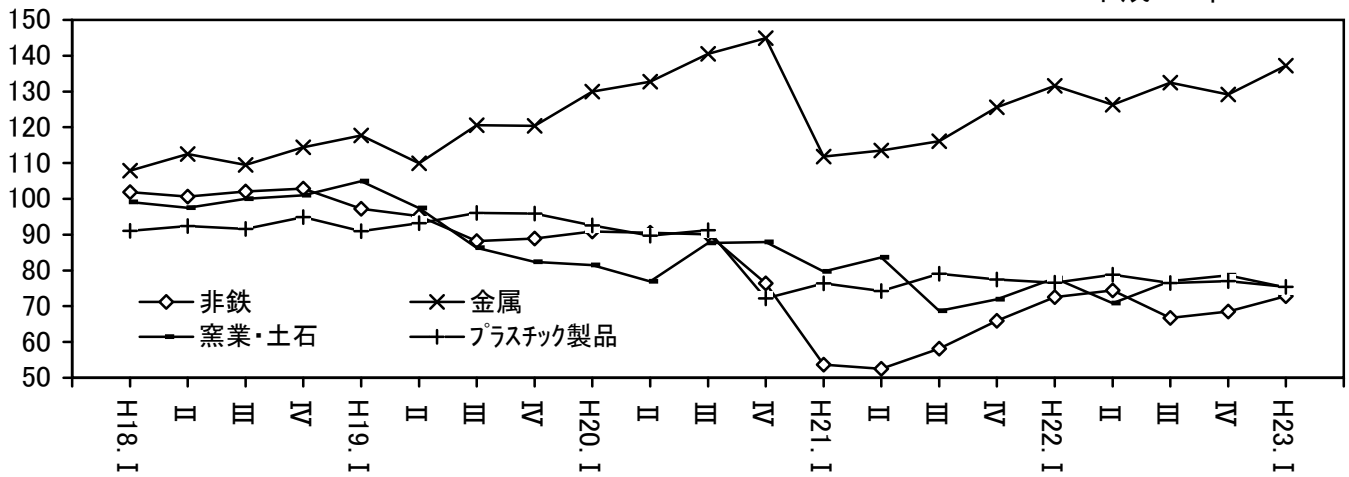


○電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス



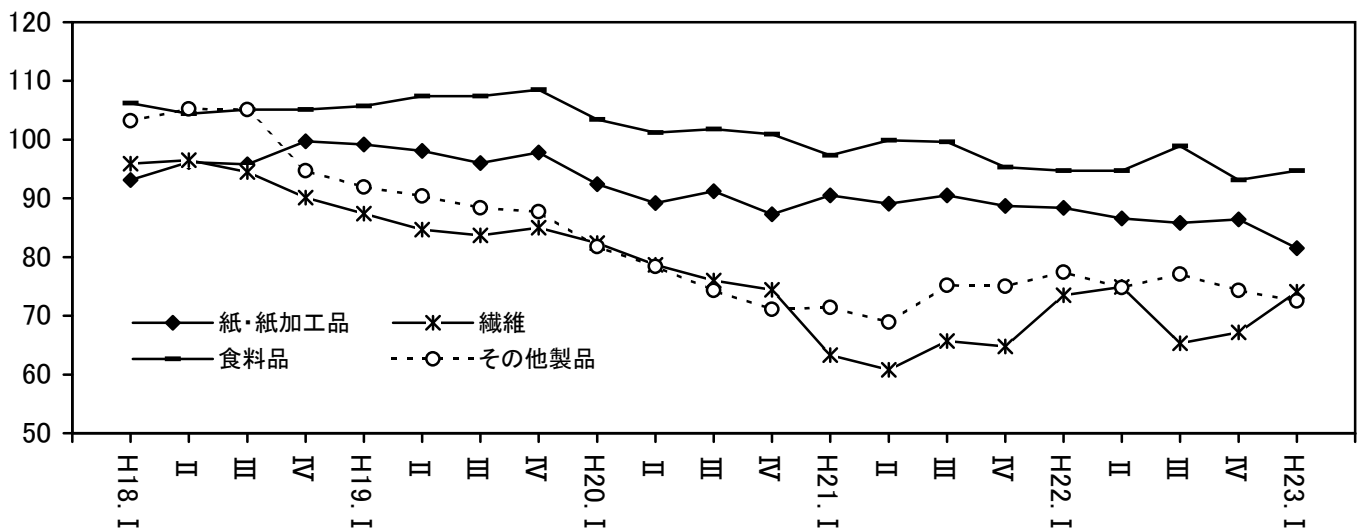
○非鉄、金属、窯業・土石、プラスチック製品

平成17年=100



○紙・紙加工品、繊維、食料品、その他製品

平成17年=100



(2) 出荷の動向

当期の出荷指数は、97.0で前期比△0.6%と低下した。

これは、情報通信機械工業が前期比△29.4%と低下し、また、一般機械工業が同△0.9%と低下したことなどを主な要因としている。

全体では、電子部品・デバイス工業、電気機械工業等の8業種が上昇し、繊維工業が横ばい、情報通信機械工業、一般機械工業等の8業種が低下した。

また、前年同期比では3.7%と上昇した。

○上昇した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電子部品・デバイス工業	6.5	0.69	集積回路製造業 など プリント回路製造業
電気機械工業	2.2	0.35	発電器・電動機製造業 など 他に分類されない電気機器製造業
輸送機械工業	7.0	0.32	自動車部分品製造業

○低下した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
情報通信機械工業	△29.4	△1.98	電子計算機製造業 など 有線通信機器製造業
一般機械工業	△0.9	△0.24	金属工作機械製造業 など 事務用機器製造業
窯業・土石製品工業	△3.7	△0.08	生コンクリート製造業 など その他のガラス・同製品製造業

(3) 在庫の動向

当期末の在庫指数は、112.7で前期末比4.9%と上昇した。

これは、電子部品・デバイス工業が前期末比11.3%と上昇し、また、精密機械工業が同32.5%と上昇したことなどを主な要因としている。

全体では、電子部品・デバイス工業、精密機械工業等の8業種が上昇し、一般機械工業、金属製品工業等の5業種が低下した。

また、前年同期末比では20.3%と上昇した。

○上昇した主な業種

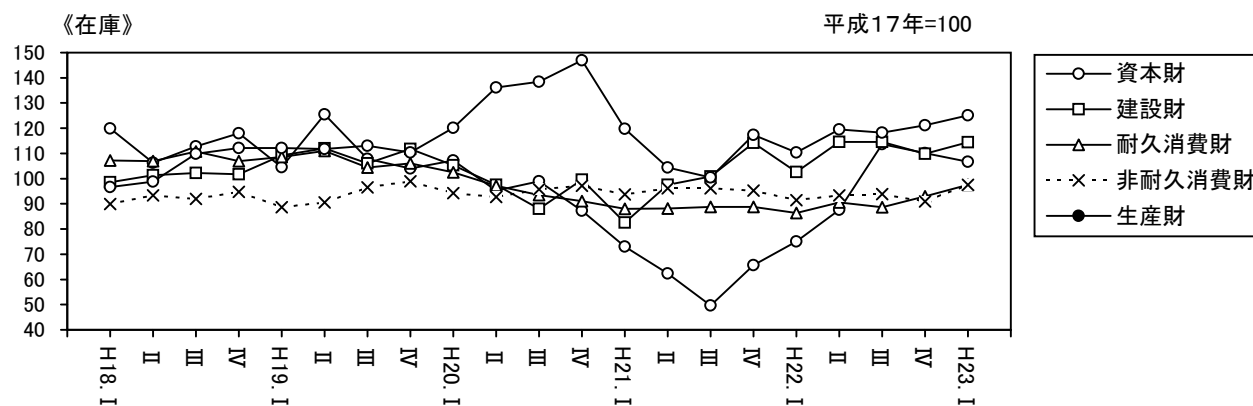
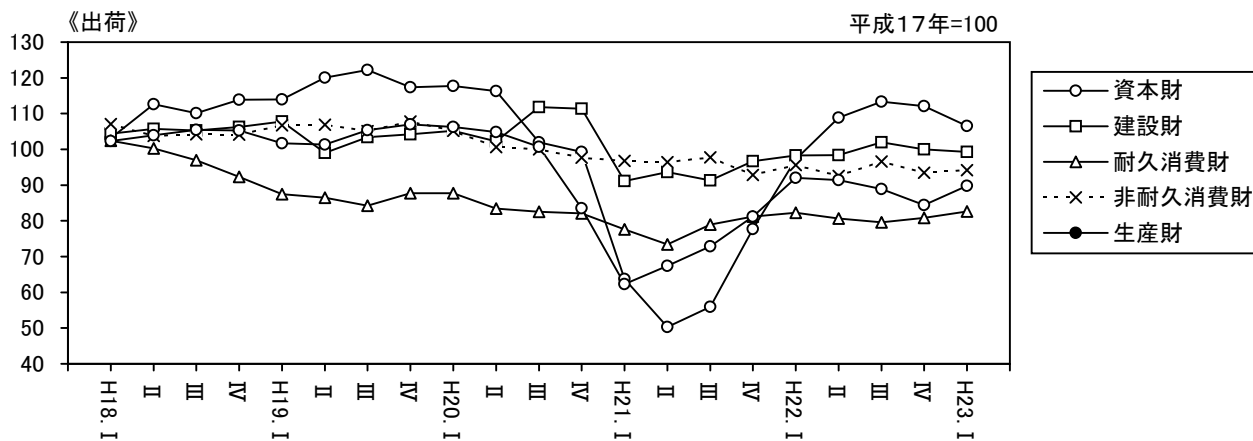
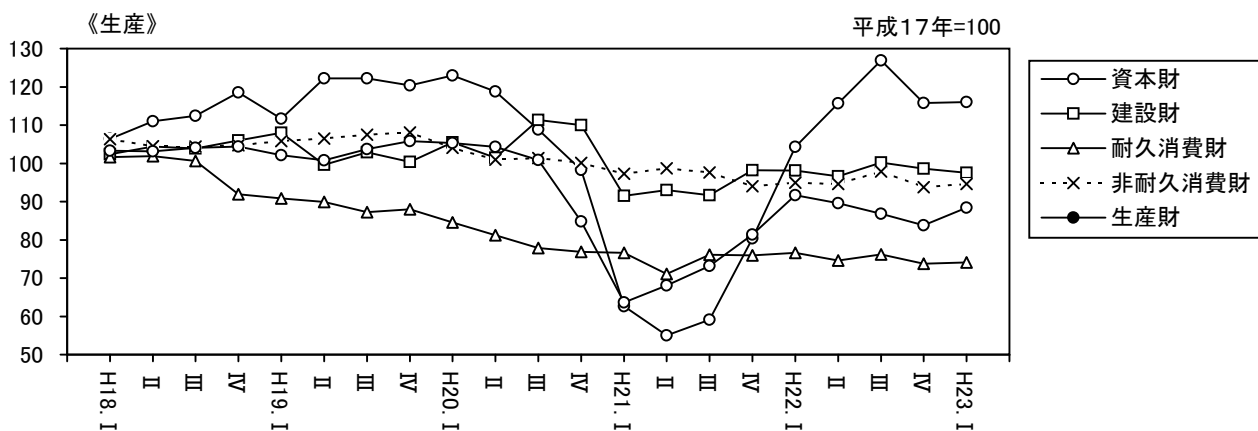
業 種	前 期 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
電子部品・デバイス工業	11.3	2.86	半導体素子製造業 その他の電子部品製造業
精 密 機 械 工 業	32.5	0.86	医療用機器製造業 写真機付属品製造業
食 料 品 工 業	3.7	0.34	清涼飲料製造業 味ぞ製造業 など

○低下した主な業種

業 種	前 期 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
一 般 機 械 工 業	△ 3.0	△ 0.88	半導体製造装置製造業 など その他の事務・サービス・民生用機器製造業
金 属 製 品 工 業	△ 17.7	△ 0.60	製缶板金業 その他の金物類製造業
電 気 機 械 工 業	△ 13.7	△ 0.43	電気計測器製造業 他に分類されない電気機器製造業

2. 特殊分類の推移

◎特殊分類【生産・出荷・在庫グラフ】(季節調整済指数)



3. 全国との比較

(1) 生産

平成17年=100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比
H19	I	106.2	△ 3.5	104.1	1.0	105.8	△ 0.5	106.5	3.1
	II	110.4	4.0	108.5	3.4	106.4	0.6	104.2	2.3
	III	111.3	0.8	112.9	3.6	108.2	1.7	106.9	2.6
	IV	111.2	△ 0.1	113.7	1.5	109.2	0.9	112.1	3.3
H20	I	111.7	0.4	108.3	4.0	109.5	0.3	109.1	2.4
	II	109.1	△ 2.3	107.7	△ 0.7	108.1	△ 1.3	105.0	0.8
	III	103.8	△ 4.9	106.6	△ 5.6	104.6	△ 3.2	105.4	△ 1.4
	IV	93.5	△ 9.9	95.4	△ 16.1	92.8	△ 11.3	95.8	△ 14.5
H21	I	69.0	△ 26.2	65.0	△ 40.0	74.2	△ 20.0	71.4	△ 34.6
	II	67.5	△ 2.2	65.4	△ 39.3	79.0	6.5	76.2	△ 27.4
	III	70.6	4.6	72.5	△ 32.0	83.2	5.3	84.9	△ 19.4
	IV	83.4	18.1	87.4	△ 8.4	88.1	5.9	91.7	△ 4.3
H22	I	96.9	16.2	91.4	40.6	94.6	7.4	91.4	28.0
	II	101.1	4.3	98.0	49.8	95.3	0.7	92.4	21.3
	III	105.7	4.5	108.6	49.8	94.3	△ 1.0	96.8	14.0
	IV	99.2	△ 6.1	104.8	19.9	94.2	△ 0.1	97.1	5.9
H23	I	100.6	1.4	95.2	4.2	92.3	△ 2.0	89.1	△ 2.5

(2) 出荷

平成17年=100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比
H19	I	107.1	△ 0.8	105.6	2.5	105.9	0.0	107.8	2.8
	II	109.2	2.0	106.3	1.7	107.0	1.0	103.6	2.5
	III	111.5	2.1	113.6	4.0	108.4	1.3	107.5	2.8
	IV	110.1	△ 1.3	112.5	2.5	109.9	1.4	112.4	4.4
H20	I	110.0	△ 0.1	107.4	1.7	110.5	0.5	111.2	3.2
	II	107.6	△ 2.2	106.1	△ 0.2	108.4	△ 1.9	104.6	1.0
	III	101.0	△ 6.1	103.9	△ 8.5	105.1	△ 3.0	105.9	△ 1.5
	IV	93.6	△ 7.3	94.4	△ 16.1	93.5	△ 11.0	95.6	△ 14.9
H21	I	68.9	△ 26.4	65.7	△ 38.8	75.7	△ 19.0	74.0	△ 33.5
	II	65.9	△ 4.4	63.1	△ 40.5	79.5	5.0	76.0	△ 27.3
	III	70.2	6.5	72.0	△ 30.7	84.1	5.8	86.0	△ 18.8
	IV	82.0	16.8	85.4	△ 9.5	89.1	5.9	92.4	△ 3.3
H22	I	93.9	14.5	90.2	37.3	95.8	7.5	93.9	26.9
	II	98.7	5.1	94.0	49.0	96.5	0.7	92.5	21.7
	III	100.5	1.8	103.5	43.8	95.7	△ 0.8	98.4	14.4
	IV	97.6	△ 2.9	102.6	20.1	95.4	△ 0.3	98.3	6.4
H23	I	97.0	△ 0.6	93.5	3.7	93.6	△ 1.9	91.5	△ 2.6

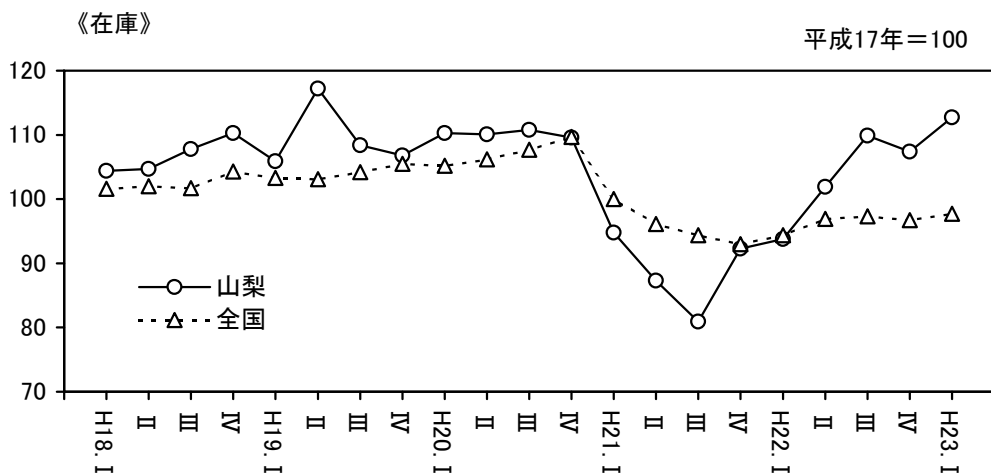
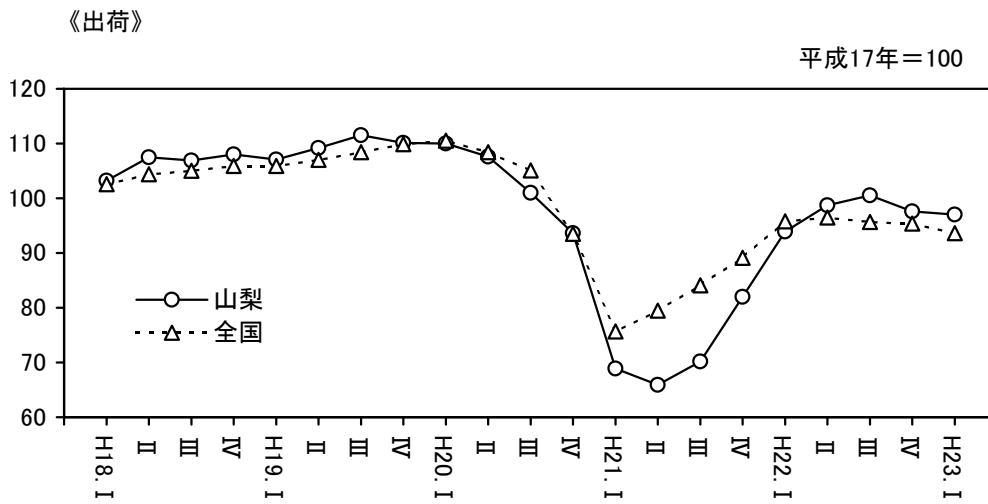
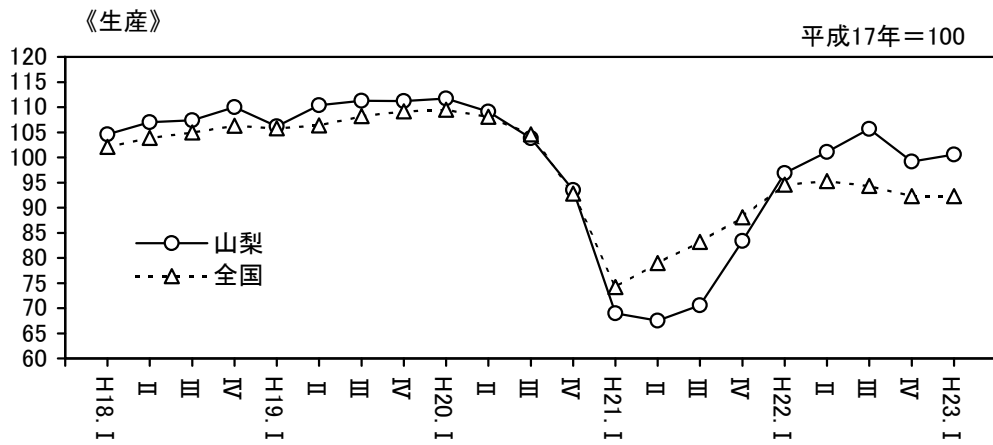
(3) 在庫

平成17年=100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期) 比
H19	I	105.9	△ 4.0	100.4	1.9	103.3	△ 1.0	98.6	1.6
	II	117.2	10.7	117.5	12.8	103.1	△ 0.2	103.4	1.0
	III	108.4	△ 7.5	111.8	3.5	104.2	1.1	101.6	2.4
	IV	106.8	△ 1.5	105.9	△ 1.2	105.5	1.2	104.0	1.3
H20	I	110.3	3.3	105.0	4.6	105.2	△ 0.3	100.5	1.9
	II	110.1	△ 0.2	110.0	△ 6.4	106.2	1.0	106.1	2.6
	III	110.8	0.6	113.7	1.7	107.7	1.4	104.8	3.1
	IV	109.6	△ 1.1	107.3	1.3	109.7	1.9	109.0	4.8
H21	I	94.8	△ 13.5	89.2	△ 15.0	100.0	△ 8.8	95.3	△ 5.2
	II	87.3	△ 7.9	86.5	△ 21.4	96.1	△ 3.9	95.2	△ 10.3
	III	80.9	△ 7.3	82.4	△ 27.5	94.4	△ 1.8	92.1	△ 12.1
	IV	92.3	14.1	93.7	△ 12.7	93.0	△ 1.5	93.1	△ 14.6
H22	I	93.8	1.6	87.6	△ 1.8	94.4	1.5	89.5	△ 6.1
	II	101.9	8.6	100.1	15.7	96.9	2.6	96.3	1.2
	III	109.9	7.9	112.1	36.0	97.3	0.4	95.3	3.5
	IV	107.4	△ 2.3	110.3	17.7	96.7	△ 0.6	96.6	3.8
H23	I	112.7	4.9	105.4	20.3	97.7	1.0	92.6	3.5

※全国の指数は、経済産業省経済産業政策局調査統計部「生産・出荷・在庫指数確報」による。

◎全国指数との比較グラフ(季節調整済指数)



◎四半期別業種分類指数

(平成17年=100 季節調整指数)

	生産指数						生産者出荷指数						生産者製品在庫指数					
	22年			23年			22年			23年			22年			23年		
	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	101.1	105.7	99.2	100.6	1.4	4.2	98.7	100.5	97.6	97.0	△ 0.6	3.7	101.9	109.9	107.4	112.7	4.9	20.3
鉄鋼業	85.1	85.9	81.7	88.9	8.8	15.4	85.8	86.4	82.6	90.5	9.6	15.9	—	—	—	—	—	—
非鉄金属工業	74.4	66.7	68.5	72.8	6.3	△ 0.4	76.2	70.8	70.1	74.6	6.4	0.3	95.2	80.2	92.8	96.2	3.7	9.2
金属製品工業	126.3	132.5	129.2	137.2	6.2	3.7	126.4	131.1	129.0	137.6	6.7	5.8	78.6	92.5	81.5	67.1	△ 17.7	△ 16.6
一般機械工業	109.7	124.7	110.9	113.8	2.6	18.6	99.1	105.9	105.5	104.6	△ 0.9	19.6	88.7	124.7	130.1	126.2	△ 3.0	66.0
電気機械工業	126.0	132.1	132.2	133.4	0.9	27.7	122.8	127.8	127.6	130.4	2.2	26.6	29.1	31.1	39.5	34.1	△ 13.7	13.0
情報通信機械工業	113.7	104.1	85.4	78.2	△ 8.4	△ 33.9	116.3	93.6	98.4	69.5	△ 29.4	△ 34.3	x	x	x	x	x	x
電子部品・デバイス工業	89.7	82.7	78.4	83.2	6.1	△ 14.9	89.3	84.0	79.6	84.8	6.5	△ 11.6	171.3	167.2	158.8	176.7	11.3	11.8
輸送機械工業	103.3	99.5	90.3	96.7	7.1	△ 5.1	103.3	99.5	90.3	96.6	7.0	△ 5.1	—	—	—	—	—	—
精密機械工業	100.9	105.5	107.1	111.7	4.3	4.4	101.0	105.4	103.3	102.1	△ 1.2	△ 3.9	81.7	76.2	92.6	122.7	32.5	54.4
窯業・土石製品工業	70.8	77.0	78.6	75.2	△ 4.3	△ 3.1	68.1	78.6	77.6	74.7	△ 3.7	0.4	164.6	137.0	139.0	142.2	2.3	△ 23.3
プラスチック製品工業	78.8	76.5	77.0	75.4	△ 2.1	△ 0.8	85.2	82.2	85.4	84.4	△ 1.2	0.4	66.5	85.0	69.0	63.3	△ 8.3	43.9
紙・紙加工品工業	86.6	85.8	86.4	81.5	△ 5.7	△ 6.2	76.0	78.1	77.5	74.1	△ 4.4	△ 6.6	67.2	73.0	64.9	70.9	9.2	15.4
繊維工業	74.9	65.3	67.2	74.1	10.3	0.7	75.7	66.9	72.0	72.0	0.0	△ 5.5	85.7	104.8	127.2	116.5	△ 8.4	26.1
食料品工業	94.7	98.9	93.1	94.7	1.7	0.4	92.6	97.2	92.7	94.4	1.8	△ 1.1	91.9	91.4	89.6	92.9	3.7	2.8
その他の工業	74.8	77.1	74.3	76.7	3.2	0.4	80.5	79.8	80.6	82.5	2.4	3.7	89.3	86.4	90.2	96.4	6.9	11.4
家具工業	98.4	116.0	114.1	104.8	△ 8.2	△ 0.2	100.7	118.1	118.8	116.0	△ 2.4	10.9	x	x	x	x	x	x
木材・木製品工業	54.4	80.6	72.3	68.7	△ 5.0	1.8	57.3	82.0	72.0	68.9	△ 4.3	△ 0.7	81.6	86.7	80.7	98.7	22.3	△ 4.7
その他製品工業	72.7	71.6	70.3	72.5	3.1	0.3	79.7	75.3	76.6	79.6	3.9	2.6	85.6	83.4	85.9	86.9	1.2	4.3
(参考) 機械工業	108.2	114.0	105.1	107.2	2.0	5.7	103.5	105.1	101.4	100.2	△ 1.2	4.9	112.0	122.3	120.9	130.2	7.7	30.4
(参考) 電気機械工業(旧分類)	112.2	108.8	102.7	101.9	△ 0.8	△ 0.8	108.5	104.2	101.4	95.7	△ 5.6	△ 3.1	128.2	126.9	119.7	133.1	11.2	9.6
(参考) 産業総合	101.0	105.6	99.2	97.0	△ 2.2	△ 0.3	98.7	100.6	97.7	94.2	△ 3.6	△ 0.8	—	—	—	—	—	—

(1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。

(2) 前年同期比は原指数による。

◎四半期別特殊分類指数

(平成17年=100 季節調整済指数)

	生産指数						生産者出荷指数						生産者製品在庫指数					
	22年			23年			22年			23年			22年			23年		
	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年同期比	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年同期比	4~6	7~9	10~12	1~3	前期比	前年同期比
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	101.1	105.7	99.2	100.6	1.4	4.2	98.7	100.5	97.6	97.0	△ 0.6	3.7	101.9	109.9	107.4	112.7	4.9	20.3
最終需要財	106.7	116.0	107.7	107.5	△ 0.2	7.8	102.4	106.9	105.6	101.7	△ 3.7	7.0	91.5	107.9	102.7	104.1	1.4	24.9
投資財	113.3	124.1	114.3	113.9	△ 0.3	10.1	107.9	112.2	110.8	105.7	△ 4.6	9.2	91.0	116.3	109.2	108.7	△ 0.5	36.9
資本財	115.7	126.9	115.8	116.0	0.2	11.5	108.9	113.3	112.1	106.5	△ 5.0	10.4	87.6	113.7	110.1	106.7	△ 3.1	43.0
建設財	96.6	100.2	98.6	97.5	△ 1.1	△ 1.3	98.4	102.0	100.0	99.3	△ 0.7	0.0	114.6	114.5	109.8	114.4	4.2	11.6
消費財	88.3	91.3	87.5	88.1	0.7	△ 0.2	89.2	92.1	89.9	91.2	1.4	△ 0.1	92.0	91.3	92.1	97.4	5.8	9.9
耐久消費財	74.6	76.2	73.8	74.1	0.4	△ 1.9	80.7	79.6	80.8	82.6	2.2	2.0	90.6	88.7	93.0	97.6	4.9	12.8
非耐久消費財	94.6	97.9	93.8	94.6	0.9	0.3	92.6	96.6	93.5	94.2	0.7	△ 0.7	93.3	93.9	90.9	97.6	7.4	6.6
生産財	89.6	86.8	83.8	88.4	5.5	△ 3.6	91.4	88.9	84.4	89.8	6.4	△ 2.7	119.5	118.2	121.2	125.1	3.2	13.2

(1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。

(2) 前年同期比は原指数による。

利用にあたって

- 1 目的 本県鉱工業における生産・出荷・在庫の動向を迅速かつ総合的に把握することを目的とする。
- 2 基準時 平成17年(2005年)
- 3 指数の分類 日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目し財別に格付けした「特殊分類」の2分類による。
- 4 採用品目 生産指数 135品目 生産者出荷指数 135品目
生産者製品在庫指数 65品目
- 5 ウェイト 基準年における付加価値額、出荷額、在庫額それぞれについて、鉱工業全体を10000とした場合の各業種・品目の構成比である。
- 6 指数の算出
$$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100$$

$$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時ウェイト}) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}}$$
- 7 季節調整 平成17年基準における季節調整は、米国センサス局の X-12-ARIMA (version 0.2.10) を用いている。
季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている(在庫については、季節要因のみ)。
- 8 寄与度 総合の増減比に対してその内訳である業種や品目の影響の度合いがどれだけあるかを示す。
- 9 年間補正 1月から12月までの1年間の実数値がすべて確定した時点で年間補正作業を行って指数をすべて計算し直し、その結果を確定値として「山梨県鉱工業指数年報」にて公表する。したがって本書記載の指数値は修正されることがある。
なお、平成22年の数値は、年間補正済の指数値である。
- 10 留意事項 ① 本書で掲載している指数値について、生産及び出荷は四半期の平均値を使用し、在庫は四半期の期末値を使用している。
② 前期比は、季節調整済指数を使用し、前年同期比は、原指数を使用して計算している。
③ 業種分類による在庫指数のうち、「鉄鋼業」「輸送機械工業」「産業総合」は指数系列として採用していない。
また、「情報通信機械工業」「家具工業」については、採用品目、対象事業所が少数のため、指数値を秘匿している。
④ 本書で使用している略称、符号は次のとおりである。
「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」：1～3月期、4～6月期
7～9月期、10～12月期
「生産」：生産指数 「出荷」：生産者出荷指数
「在庫」：生産者製品在庫指数
「△」：マイナス 「x」：秘匿

山梨県鉱工業指数

平成23年第Ⅰ期(1～3月)分

山梨県企画県民部統計調査課 商工業担当

T E L. 055-237-1111 (代表) 内線 1514

055-223-1343 (直通)

F A X. 055-223-1347

http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html

この冊子は、再生紙を使用しています。